

フェンス組立施工マニュアル

この度は、当社の商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本製品を正しく施工していただくためにこの説明書をお読みください。

安全上のご注意

- ・このフェンスは隣地境界を示す目的で設置するもので、転落防止目的での防護柵および歩行補助の手すりとしては使用しないでください。

施工上のご注意

- ・火気及び高温物等の器具の近くには設置しないでください。
- ・屋根等から落雪するおそれの場所へは設置しないでください。
- ・コンクリートやモルタルに海砂、急結剤の使用はアルミ製品の腐食の原因になるので、使用を避けてください。
- ・施工時に付着したコンクリートやモルタルは、傷や腐食の原因になるので水洗いし、拭き取ってください。
- ・施工後、ボルト・ビスの締め付けは完全か再度点検してください。
- ・正規に使用する部材以外の部分を使ったり、みだりに改造、変更しないでください。

使用上のご注意

- ・フェンスに鉢等をかける場合は、フェンス1枚あたり5kgを超えないようにしてください。
- ・木調部材及び柱キャップは樹脂製ですので、濃酸、濃アルカリ及びシンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- ・表面部は樹脂製なので、火気には十分注意してください。また、変形の恐れがありますので、高温のものを近づけないでください。
- ・フェンスに乗ったり、揺すったりしないでください。
- ・フェンスに洗濯物、布団等を載せないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

年に数回の水洗いと、乾拭きだけでも効果的です。
ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況により
お手入れの回数を増やしてください。

- 汚れが軽い場合： 柔らかい布やスポンジで水拭きしたあと空ぶきをしてください。
- 汚れが目立つ場合： 薄めた中性洗剤で汚れをおとし、洗剤が残らないように水洗いしてから空拭きをしてください。

梱包明細

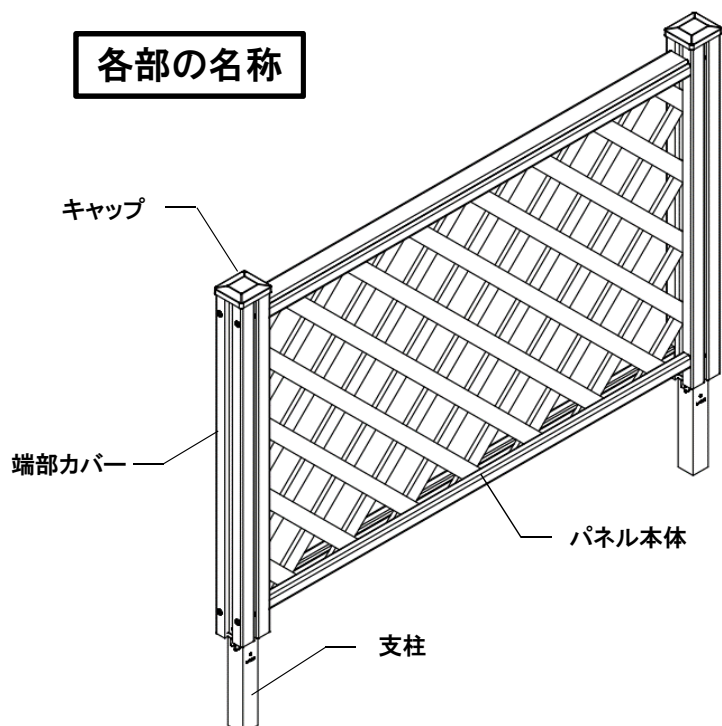
名 称	内 容	
パネル本体	本体	1枚
	キャップ	1個
	ビスセット	1セット 注1
支 柱	支柱	1本 注2
端部カバー	端部カバー	2本
	キャップ	1個
	ビスセット	1セット
	取扱説明書	1部

注1： ビスセット

- ・M4x16トラスタッピングネジ…2個
- ・M4ワッシャー…2個

注2： 0818の支柱には補強材が入っています。

各部の名称

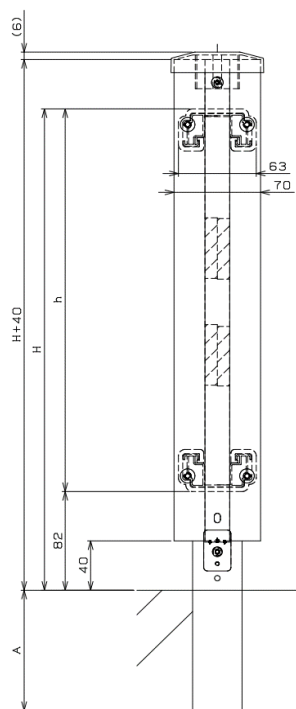


■ 施工手順

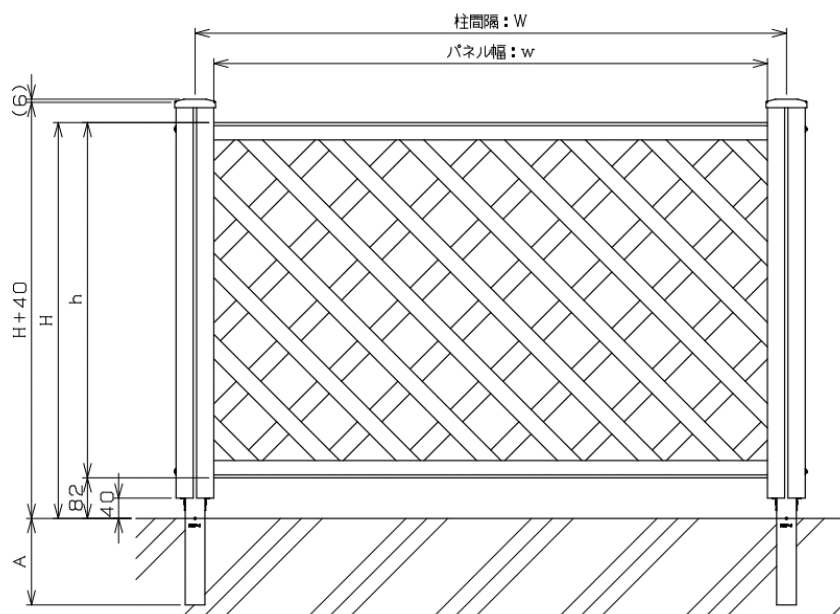
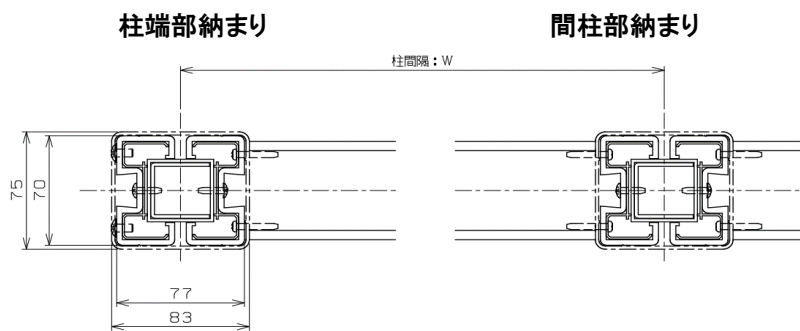
1 姿図・基本図

型式	H	h	W	w	A
1208	800	718	1200	1123	175
1210	1000	918	1200	1123	175
818	1800	1718	800	723	255

● 縦断面図



● 横断面図

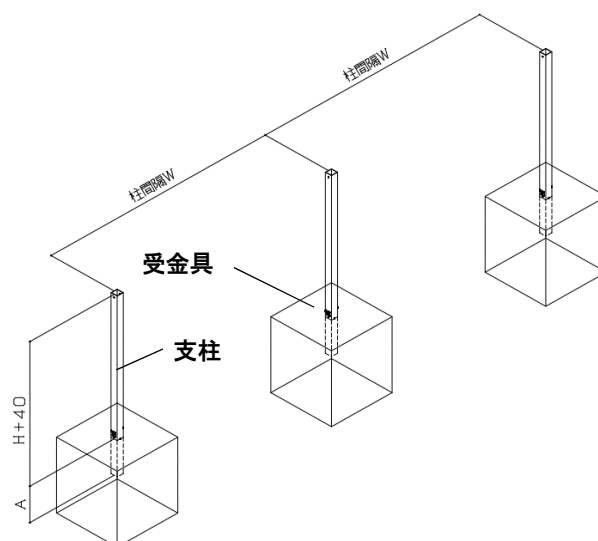


2 支柱の設置

- 1208・1210の場合
支柱の埋め込み深さAを175mm、支柱間隔Wは1200mmで、水平・垂直を確認した上で設置してください。

- 0818フェンスの場合
支柱の埋め込み深さAを255mm、支柱間隔Wは800mmで、水平・垂直を確認した上で設置してください。

※0818フェンスはブロック上に施工できません。

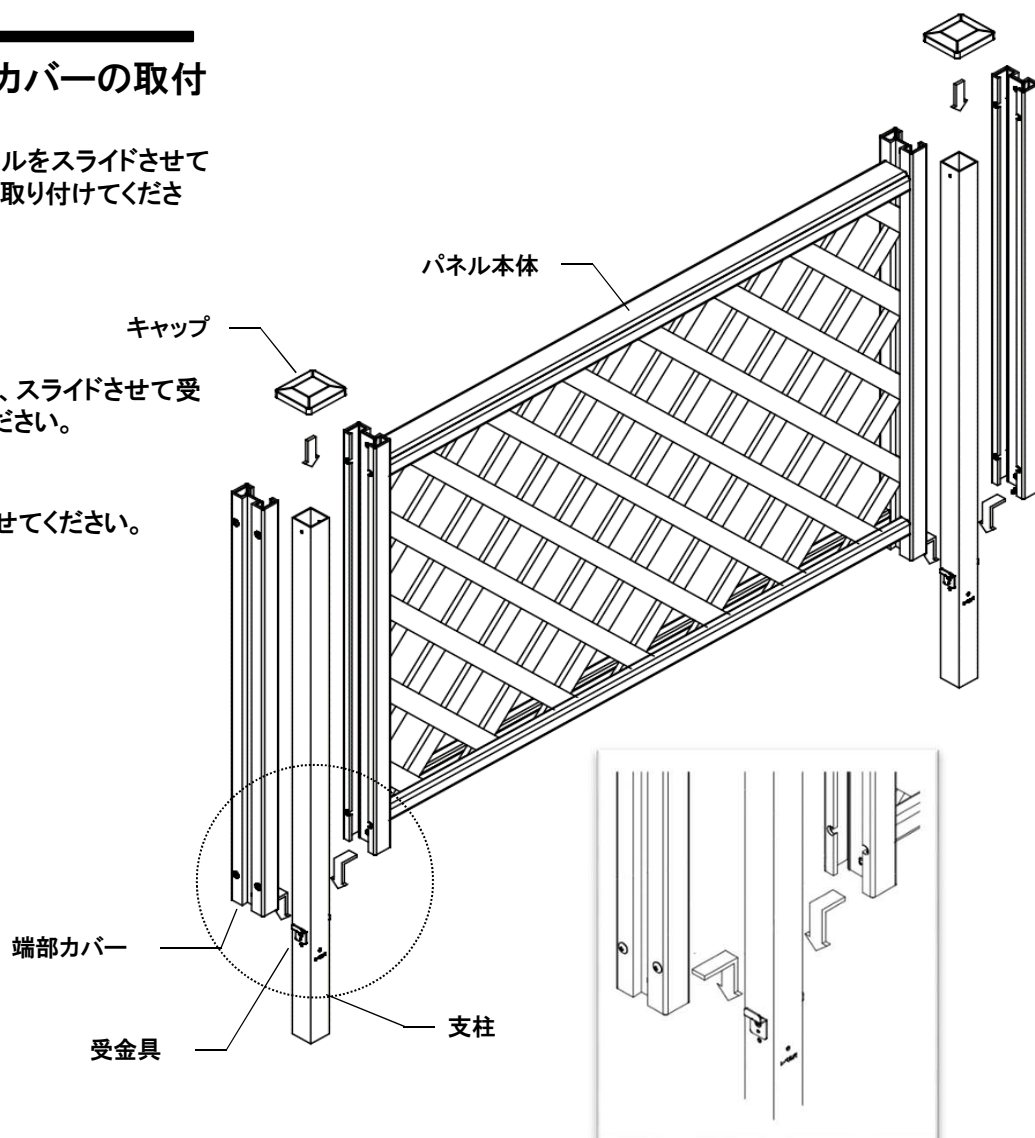


3 パネル、端部カバーの取付

- 支柱の上部からパネルをスライドさせて受金具に差し込んで取り付けてください。

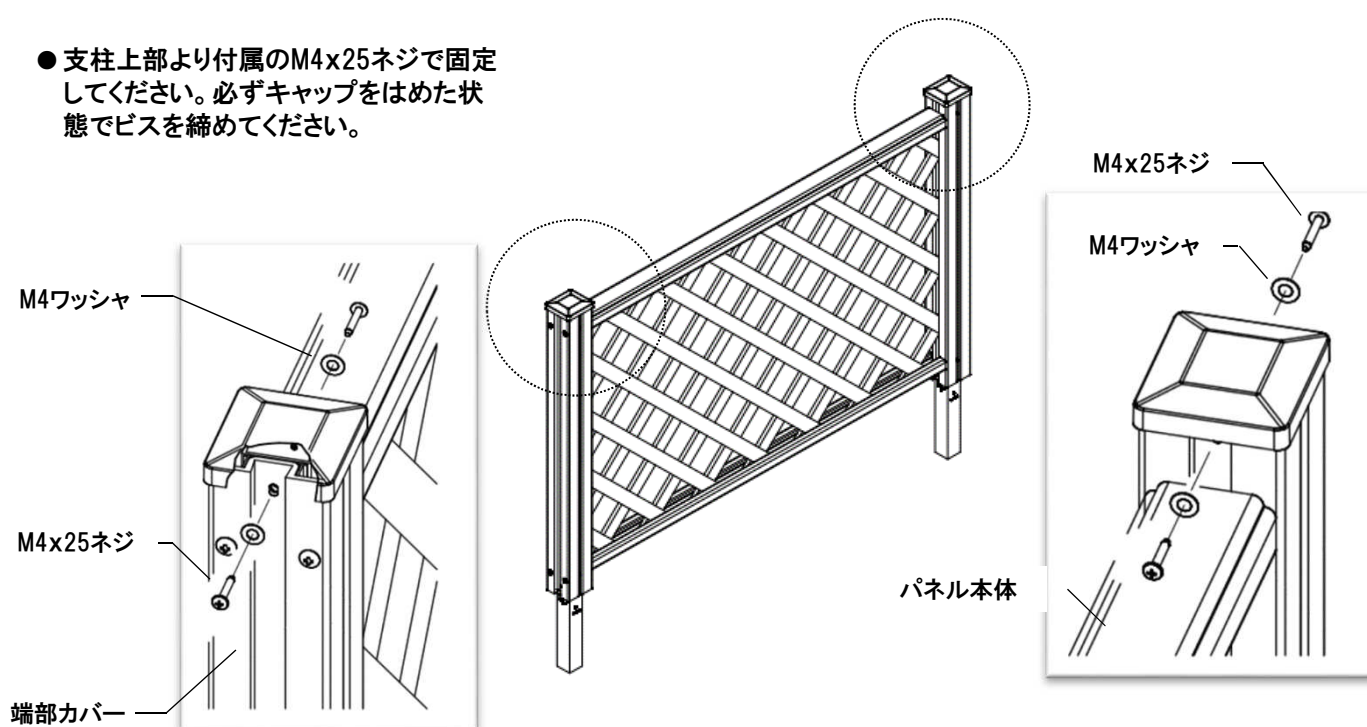
- 端部カバーも同様に、スライドさせて受金具に差し込んでください。

- 最後にキャップを被せてください。



4 支柱上部の固定

- 支柱上部より付属のM4x25ネジで固定してください。必ずキャップをはめた状態でビスを締めてください。



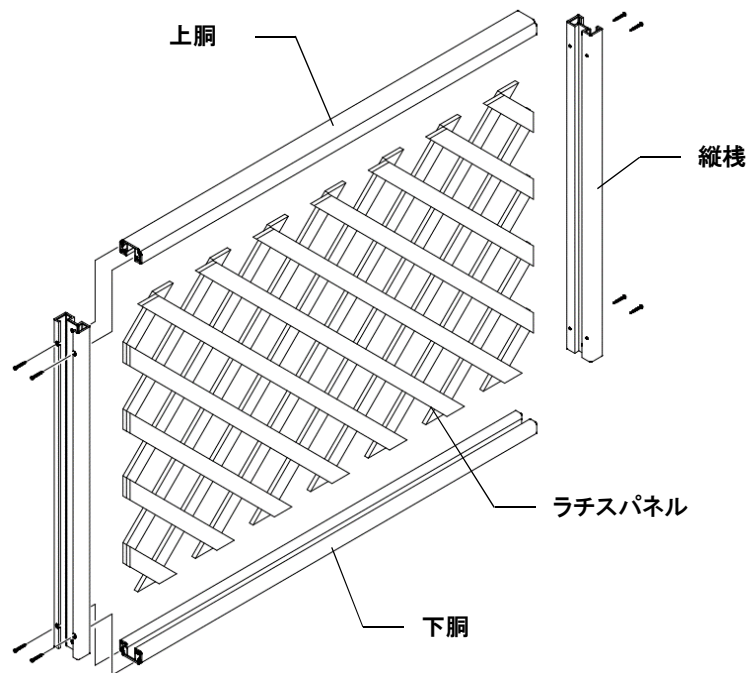
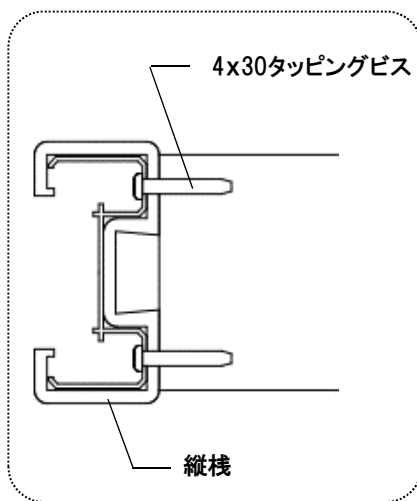
※インパクトドライバーは使用しないでください。締めすぎにより、破損するおそれがあります。

フェンス本体幅を切り詰める場合

⚠ 注意 アルミの切り詰めには専用工具を使用してください。
樹脂の切り詰めの際は、連続切断等で熱を持たせないようにしてください。

● パネルの分解

上下胴縁と縦棧を固定しているビスを取り外してください。
(ラチスパネルは固定されていません。)



● パネルの切り詰め

上下胴縁とラチスパネルを切断してください。
上下胴縁とラチスパネルの切り詰め幅は同寸法になります。